
破ノ奏者～ハノソウシャ～

からす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

破ノ奏者（ハノソウシャ）

【Nコード】

N2603BA

【作者名】

からす

【あらすじ】

少女は、何のヘンテツもない普通の19歳。名前は天野 優焚。大学1年生。好きな食べ物はみかん。

これは、ファンタジー小説であるが、主人公の過去に何か秘密があるだとか、両親が実は異世界の住人だったとか、そういった設定は存在しない。

どこにでもいる、貴方と同じ本好きの少女。

唯一人と違ったところがあるとするならばそれは、
ただ、運が悪かっただけである。

prologue 序曲

何を、間違えちゃったんだろう…。

一体、どうすれば正解だったのかな…っ。

身体は硬直し、声もだせない。

なのに聞こえてくる、私の“音”。

その時少女は、

世界を

破壊する。

物語はいつも突然始まるものだ。

誰かが生み出し、誰かが語り継ぐ。

この世界にはノンフィクションから二次元ものまで、多くの物語が存在する。

人々はそれに魅了され、中には空想の中の人物に恋をしてしまう者までいる。

ここに、一人の少女がいた。

彼女も物語に心を奪われた一人だった。

そこで物語を読む、貴方のように。

少女の名は…

「ちよいと！あつぶないよ〜！」

ちりんちりんっ。

さわやかな朝に響き渡る、大きな声。

顔をしかめて振り返り、道をあける人たち。

そこを、しゃーっと通っていく、少女の姿。

一つに束ねられた亜麻色の髪が、少女の動きに合わせて楽しげにゆれる。

天野 アマノ 優焚 ユウタ

それが、彼女の
名前である。

〜ギター〜

自転車から降りる。

ケータイを取り出し、時間を確認すると8時55分だった。

ふう、危ない。もう少しで遅刻するところだった。

背にあるものをしよいなおし、教室へと走る。

今日は、楽しい日なんだ。

そう思うと心なしか、顔がにやけてくる。

えへへっ、ちくしょーべらぼつめ！

楽しみ過ぎるぜ、このやろつ。

たたたーっつと階段を駆け上る。

その足どりに合わせて、

は・や・く、は・や・く

と呼吸をする。

3階に到着。

306の教室を覗きこみ、ふふつと微笑むと
ドアノブに手をかけた。

「おはよー!」

親しい顔ぶれが、こちらを振り返り

「よお。」

「あの、

「遅刻ぎりじゃ〜ん。」

だの、声が投げかけられてくる。

単純に、嬉しい。

「お、持ってきたんだね！」

背にあるものに気がついた一人の友人が、そう言って笑った。

「おう！連れてきたよ〜。」

席に着くよりも早く、しょっていたそれを下ろして、中身をだす。

それは、ギターだった。

白い、つやつやとしたボディ。

ピンっと張った弦が、時折黒い光りを放つ。

安物のレスポールのギター！。

優焚は、それを自慢げに抱え込んで

えへへと笑った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2603ba/>

破ノ奏者～八ノソウシャ～

2012年1月7日10時45分発行